

No. 50

2001

11月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
富田隆仁
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

柿熟れて 下市田区民会館も秋の中に



柿の色づきと共に、今年も稔りの秋となった。過剰生産だの何だのと言われても、収穫時は嬉しく心はずむものである。台風の影響も受けず、豊作だった秋をまずは祝いたい。

それにしても此の秋は、大きなニュースが次々と追いかけて来た。アメリカでの同時多発テロ事件、それに対する報復行動、そして炭疽菌。国内でも狂牛病の発生は、関係する多くの人たちに、多大な問題を投げてしまった。

先行き不透明な社会情勢・経済情勢の中にあつては、なかなか将来は読みにくい時代となった。

難しい事はともかく、今此処に住む私たちは、収穫を喜び、庭先の菊の香に安らぐ時間を持つことが出来る。そして、よりよい地域づくりに向けて話し合い、活動に移すことも出来る。つまり世相は厳しさを増して来ているが、私たちは、今までと変わらない時間を刻んでいけるわけで、これは、とても尊いことなのかも知れない。

区の情勢について

区長 富田 隆 仁

区の情勢を報告致します。
過日の萩の里まつりには大勢の方々の参加をみ盛大に挙行されました。協力頂きました皆様は厚く御礼を申し上げます。米国のテロ、国内の経済の低迷等、暗いニュースの内での地域の者達が力を合わせ協力して行く事が何より大切であります。下市田区の大きな柱として育てて行く事が肝要と思います。

広域農道開通祝賀会が各地区で行われ、下市田区でも九月二十四日、地権者・歴代の推進委員の方々が集い御祝いを致しました。
(平成二年から始まり全長三二km、事業費三百二十八億円、また町内では六・六km、事業費約六十億円、平成十三年完成)、又朝霧の里事業(北村・北の原地区)につきまは地権者の方々、周辺の皆様の御理解を頂き、現地測量の段階に入りました。ふる里道路湯ヶ洞線、又農免道路等工事が進行致しております。一日も早く工事が完了する事を祈念致します。

十月一日待望の下市田郵便局がオープン開局となりました。その歴史を振り返りますと、明治四十年三月十六日旧市田村大字下市田中村(明治二十年下市田村が五ヶ村と合併)に開局され、以来明治・大正の三十五年を経て、昭和十四年八月三十日市田駅前新築移転し、更に昭和三十六年十月二十六日市田駅南寄りに移転となりました。その間

局長さんは区民に慕われ、神社の大祭・区内の行事に名士として参加され尊敬を集めて参りました。昭和六十三年国道一五三号線吉田地区へ新築移転となり、お年寄りの皆様を始め多くの区民の方々が不自由をして参りました。
各方面の御理解と御援助により平成十三年十月一日に、発祥の地中村の近くへ戻って参りました。記念すべき年となりました。
以上報告を終わります。寒い冬を迎えます、充分注意して下さい。

区役員・委員

親睦スポーツ大会開催

水利委員 小島孝彦

例年開催される区役員・委員合同の、親睦スポーツ大会グランドゴルフ競技会が、去る九月十六日の午後区民会館前の広場で行われました。
本年は、役員・委員の改選があり、継続者・新任者の顎自慢や、腕自慢のメンバーが顔を揃えました。幸いにも天候には恵まれましたが、やゝ伸び過ぎの雑草が混在するラフ条件の

の侵入等々、好プレー、珍プレーの続出の競技となりました。
成績は、最少七十四打、最多百二十一打で、みんな頑張りましたが、成績発表のみで賞品はなし。
それぞれの立場の区の役員・委員会相互の親睦と、各委員の縦横の連携を深めた事は、今後の活動にとって大きな糧となると思います。

平成13年度 下市田区一般会計前半期決算報告書

(自平成13年4月1日～至平成13年9月30日)

収入金計 30,796,673円 支出金計 16,419,817円 差引残高 14,376,856円

I. 【収入金の部】

項 目	予算現額	決算収入額	比較(予算・決算)
1. 区 費	15,020,000	7,558,690	- 7,461,310
2. 繰 入 金	1,396,000	0	- 1,396,000
3. 町 支 出 金	3,550,000	9,944,267	+ 6,394,267
4. 財 産 収 入	1,545,000	379,531	- 1,165,469
5. 寄 付 金	550,000	184,766	- 365,234
6. 消 防 義 務 金	2,600,000	2,260,000	- 340,000
7. 諸 収 入 金	350,000	160,753	- 189,247
8. 前 期 繰 越 金	6,500,000	10,308,666	+ 3,808,666
収 入 合 計	31,511,000	30,796,673	- 714,327

II. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予算現額	決算支出額	比較(予算・決算)
1. 総 務 費	14,745,000	5,175,624	- 9,569,376
2. 環 境 衛 生 費	1,123,000	0	- 1,123,000
3. 林 務 費	1,020,000	157,226	- 862,774
4. 土 木 費	2,670,000	7,007,865	+ 4,337,865
5. 水 利 費	2,660,000	1,918,072	- 741,928
6. 消 防 費	2,240,000	651,030	- 1,588,970
7. 公 民 館 費	3,010,000	1,510,000	- 1,500,000
8. 予 備 費	4,043,000	0	- 4,043,000
支 出 合 計	31,511,000	16,419,817	- 15,091,183

平成13年度 高森町公民館下市田支館 中間決算報告書

(自平成13年4月1日～至平成13年10月1日)

既収入額 3,651,381円 既支出額 2,884,805円 残 高 766,576円

1. 収入の部

科 目	予算額	既収入額
1. 繰 越 金	600,000	673,050
2. 繰 入 金	3,010,000	1,510,000
3. 補 助 金	1,250,000	1,448,200
4. 雑 収 入	1,000	20,131
合 計	4,861,000	3,651,381

2. 支出の部

(単位 円)

科 目	予算額	既支出額
1. 総 務 費	2,925,000	2,090,407
2. 事 業 費	1,680,000	761,275
3. 広 報 費	20,000	2,723
4. 予 備 費	236,000	30,400
合 計	4,861,000	2,884,805

委員会活動報告

林務委員長 西村 芳孝

林務委員会は、区の財産であり、区有林の保守・維持管理が主たる事業目的でございます。年度計画に基づいて事業の推進に当たっております。

区民の皆様は「手」をおかりし実施してまいります。区有林の管理作業も、七月に「夏の山作業」として巡礼沢の下草刈りを行い、今年度の当番区一、二区、六区より、六十一名の出勞がございまして、予定通り作業が終了しました。

ご協力ありがとうございました。

区有林管理作業は、今後「秋の山作業」十一月と「春の山作業」三月実施予定ですので、区民の皆様のご協力をお願い致します。

境界線の整備をする共に、山林の状況を把握した。同時に山作業に必要な道具、備品の手入れ、整備、管理等も行。

次には今年の一月の大雪により巡礼沢のヒノ木（樹齢の若い幼木等）が曲がり折れ、倒伏の被害に遭い、その整備に当たります。



区有林 ヒノ木間伐跡地及び間伐材

天候にめぐまれ 今年も盛大でした 萩の里まつり

七月二十八日午後六時過ぎから、平成十二年度コミュニケーション事業の大事事である「萩の里祭り」が、晴天の中、下市田区民広場にて盛大に開催されました。例年のごとく、支館幹部や分館長による基本計画に始まり、実施計画を何度となく重ね、七月初旬には、関係代表者会議も開かれ、昨年の反省を生かし、より楽しく、祭りを有意義なものにするために、役割分担別の打合せも、支館部員の司会のもと熱のこもった詳細な話し合いが持たれました。

さて、いよいよ祭りの当日。天候にも恵まれ、催事者の関係各位の集合のもと、午後早くから会場作りが始まり、準備も順調に進み、祭り開催の花火の音を聞く前にも子供達が集まり始め、その後各区の座席にも次第に人が埋まり、いよいよ祭りのオープニングを待たばかりとなった。

まだまだ明るい会場に、女性ばかりの大鼓愛好グループ「紅華（くれなゐ）」の力強い太鼓の音が響き、最初に開会式のセレモニーが行われ、いよいよ平成十三年の萩の里祭りが始まりました。その後は再び「紅華」によるにぎやかな太鼓、下市田・吉田河原の各保育園児による愛くるしいダンス、後は皆さん参加されて楽しんでいただけたとおり、納涼盆踊りあり、民謡クラブの踊りあり、各種の演技等がにぎにぎしく行われました。

祭りのもう一つの楽しみは何といっても各区青年会担当による「お楽しみコーナー」でもあります。縁日でおなじみの焼きそば・綿菓子・か



各地区青年会



とどろきわたる紅華太鼓



下市田保育園 園児おどり

き氷・チョコバナナはもちろ、伊那谷名物の五平餅やもつ煮込みに至るまで、子供はもちろのこと、大人も格安なお楽しみコーナーに列を作り、夏の一夜を楽しんでいる様子でした。

時間の経つのは早いもので、楽しく過ごした時間があっという間に過ぎ、来年もまたこの会場で会いましょうの言葉を最後に、お開きとなりました。

最後に、翌朝の片付け作業を含め、萩の里祭りに関連し、ご協力下さいました

関係各位に対し厚くお礼申し上げると共に、来年も一層盛大な祭りとなりますようお願い申し上げます。

地元町議との懇談会

下市田区と公民館主催による「地元出身町議と区民との懇談会」は、去る六月九日午後七時より、下市田区民会館に於いて行われました。

原昭夫、倉沢岩雄、伊奈川義公、久保田昌幸、熊谷元尋各議員の出席を頂き、公民館支館長、区長の挨拶のあと各議員より、議会活動報告をして頂きました。今回の懇談会は、町会議



員選挙を間近に控えた最中のことでもあり、その後の質疑応答は、熱気を感じつつも粛々と進行了た懇談会となりました。

◆倉沢岩雄議員より

町村合併をめぐる状況

町村合併について、上伊那では、合併協議会が進められているが、下伊那においては自主的な方向であるが、平成十七年までの五年間が合併推進となる。

財政面については、県の調査によれば郡下全体でも群を抜いて健全な財政である。

下市田地区郵便局については、平成十三年十月一日開局予定である。

◆伊奈川義公議員より

建設関係について

平成十三年五月二十八日に、広域農道が開通し、九月頃には飯田市まで開通する予定である。

ふるさと農道別曾線大島川橋梁の本年度完成を目指す。

新田の住宅地区計画

について、地域の活性化につなげたい。

小原町宮住宅については、古いので取壊し競売にかけ返済にあてる。

牛牧マレットゴルフ地については、地域の要望や湯ヶ洞の活性化につなげるため、一億二百万円をかけて、今年度完成する。

大丸山下排水路整備について、八千四百万円の予算で実施。

下市田朝霧の里道路整備着手。

◆久保田昌幸議員より

産業関係について

農業振興については、自給率の向上を目指し、町と農協の協力関係を改善していく。

市田柿加工の研究費を助成し、施設の働きかけ等を行い、農協の活性化へと、つなげていくのではないかと。

◆熊谷元尋議員より

総務文教関係について

ふれあいスクール開設について、今年度秋以降のスタートとなる。

学童保育の受け入れ年齢の拡大と児童館の設置については、これからの研究課題である

学校給食について、今年



ある。
下水道工事は、一期工事が終了。現在、二期工事に入っている。

質疑応答

Q 蘭植物園について

今年度予算の使い道と現状について詳しく説明をお願いしたい。

A 現状としては、設計は桂設計で、造成・建物の建設は神稲建設で行う。また、運営については、信州苑が行い、地元の農産物の販売を行う。

平成十四年三月に完成の予定。
Q 広域連合等町村合併について、過去の例を見ても合併によって良くなっているとは思えないが、町としての考え方はどうか。

A 広域連合と町村合併については、別のものとして考えている。

平成十七年に合併促進法ができ、優遇されることが多くなっているが、町としては慎重に取り組んでいきたい。

Q 道路が広くなると共に排水量も増えるが、地区計画内での用排水路の問題についてはどう対処していく

ある。
下水道工事は、一期工事が終了。現在、二期工事に入っている。

Q 蘭植物園について
今年度予算の使い道と現状について詳しく説明をお願いしたい。

A 現状としては、設計は桂設計で、造成・建物の建設は神稲建設で行う。また、運営については、信州苑が行い、地元の農産物の販売を行う。

のか。

A 利水圏等の問題もある
ので、今後の研究課題にしていく。

Q 町内の塵廃処理を蘭植物園の燃料に利用できないか。

A ダイオキシン問題もある
ので、燃料に利用するのは難しいが、将来への研究課題としたい。

Q 町内におかれる青少年の育成問題について今後の考え方を聞かせてもらいたい。

A 高森町にあった生活安全条例等研究しながら進めていく。

Q 多目的な教養施設、または文化施設は作れないか。
A 現状としては、文化施設の稼働率等考えると財政難となり現実には難しい。

Q 小原団地跡地の競売について。
A 平成十三年度内に売却し、民間宅地業者に入札予定である。

Q 県道市田（T）上市田線は子ども達も通学に使うという事もあるので、歩道等考えてもらえないか。

A いろいろな案を含めて研究し、町の方へも働きかけていきたいと思う。

文化祭り・敬老会

今年も「下市田文化祭り・敬老会」が十月十三・十四日の二日間、盛大に行われました。両日とも秋晴れの

平成13年度 「下市田文化祭り・敬老会」 ぐるりウォーキング



中大勢の方々の参加で楽しい文化祭りとなりました。十三日は、午後一時より展示開始となり、時間を見つけ見学させていただきましたが、書・絵画をはじめ手工芸・皮芸・陶芸・生け花・盆栽等ありとあらゆる分野の品々が所狭しと並び、見ごたえのあるものでした。いろいろ印象に残ったものもありましたが、中でも、どの家にもあるタオルを使って作られた可愛らしい人形や、ヤクルトの容器を再利用したものなど工夫されてステキな作品に仕上がっていて、アイデアが生かされていたのがとても良かったです。

十四日は、十二時過ぎより大ホールにて「敬老会」が開催されました。数多くのステージ発表があり、賑やかなものとなりました。数組の踊りのグループの発表がありました。色鮮やかな衣装にも目を奪われ、男踊りの力強さと女踊りの



しなやかでやさしい動きの両方の良さを見る事が出来、とてもすばらしかったです。

ステージ発表の合い間、合い間にリラックスタイムがあり気分が変わってまたステージ発表が見られたのも、なかなか良い工夫だと思いました。ステージ発表の最後の方では、高森ニューサウন্ズの皆さんの演奏の中に演歌メドレー数曲も盛り込まれており、曲を口ずさむ人も多く、中には飛び入りでマイク片手に自己紹介をし、元気に歌を歌って下さる方もあり、大変盛り上がりしました。

今年、支館部員をやらせ



ていただいていることもあり初めて下市田文化祭りに参加させていただきましたが、いろいろと手が掛けられている作品の数々や練習を重ねてのステージ発表、ボランティアで参加された各団体の方々、関係者の皆さんの働き、ありとあらゆる部門において多くの方々が活躍され、しかも楽しんでやっている姿を見させていただき、下市田には沢山の素晴らしい人材がこんなにもそろっているのかと驚くとともに、とてもうれしい気持ちで「下市田文化祭り・敬老会」を終える事が出来ました。下市田の良い所をまた一つ発見できた行事となりました。

松原みゆき記

ぐるりウォーキング

下市田公民館支館事業として、十月十四日午前中、ぐるりウォーキングが行われ、多数区民の御参加を頂き楽しい一時を過ごす事が出来ました。下市田中談会・自然愛護会の御協力により、高森町の文化遺跡・文化財等を身をもって知り得る事が出来ました。今年は富本

銭の発掘で全国的に有名となった秋葉塔の塚、そして清水庵。ここ清水庵には沢山の石碑、十王の石像等、又旧下市田学校においては、モダンな洋風建築として高森町文化財に指定されて居ります。萩山神社に於ては、過去二度に亘る火災で焼失し、現建物は一六五三年に建てられ、江戸初期の様式をそのまま残されている貴重な文化財となつて居ります。お参りの後、拝殿の裏側を是非御覧戴きたいと思ひます。そして民俗資料館の駅に於ては、これまでの出土品等現物を見ながら詳しく御説明頂きました。道中少しずつ秋の深まりを感じ



田中幸蔵記

ようこそ下市田へ

田畑に夢と

希望を育てに高森へ

四区 原

章

私達一家は、飯田市の砂
 弘より、妻の実家へ同世帯
 という形で移転して参りま
 した。義父の他界により、
 農業を引継ぐ者がいない為、
 家族と親族で話し合い、思
 い切り、田畑へ夢と希望を
 持って、転居しました。家
 族構成は、義姉、姪と私共
 四人の六人家族です。
 こちらへ移転してから感
 じた事は、田畑が多く、空
 気の良さを感じ、又夜にな
 ると車の音も無く、周
 りが静か過ぎて少しの
 音も気になる程でした
 が、今では鳥の声や虫
 の声が快く聞こえ、以
 前の住まいより良く眠
 れる様になりました。
 又、こちらでは会合
 や催しが多く、最初の
 内は戸惑いましたが、
 皆さんとの交流を通し
 て、地域の発展や、団
 結への熱意を感じ、私
 も出来る限り参加させ
 ていただきたいと思っ
 ております。



私の子供の頃
 を振り返ってみ
 ますと、近所の
 農家の子供達が、
 りんごや柿等を
 食べているのを
 見て、「農家は
 イイナァ」と思い、いつか
 は農業をしたいと思ってい
 ました。しかし実際に農業
 をしますと、その裏には大
 変な苦勞と、家族の協力な
 くしては、とても営む事が
 出来ない事を痛感しました。
 それでも、子供の頃の夢
 に向け、地域の皆さんに御
 指導をいただきながら、少
 しでも良い農作物を作り、
 生活の支えにしたいと思っ
 ております。

中国大陆を旅して

六区 下 平 卓 也

過日、中国の上海地方を
 旅行する機会に恵まれ、三
 日間という短い日程ではあ
 りましたが、日本とは歴史、
 因縁ともに深い中国大陆を
 楽しんでまいりました。
 第一印象は『なんとも、
 広い』の一言でした。どこ
 までも続く地平線に、海か
 と見間違ふような大きな湖
 沼、旅のガイドブックに名
 前すらないのに、対岸のか
 けらも見えません。(笑)
 風景が何もかも日本と大違
 いで、現実感に欠け、あた
 かも夢の中のように、三国
 志や水滸伝の舞台となった
 地に足を着けました。

随 想

見回すと、
 歩いている人
 は日本人のよ
 うで中国に居
 るという実感

が無いのですが、聞こえて
 くる言葉はやはり中国語で
 すし、どこことなく服装も町
 並みも、違うというか懐か
 しい感じのする古き日本が
 其処にあるような不思議な
 感覚を味わいました。
 買い物をして信じられ
 ない安さなのですが、まだ
 高いらしく値引きを求める
 と、半値くらいまで下がる
 ものも少なくありませんで
 した。
 食事は大変においしく、
 かつ、安さと量に驚かされ、
 中国という国の歴史の深さ
 を垣間見た気がしました。
 僅か三日間の旅を通じて

感じたこと、それはその土
 地と人々には、それぞれの
 文化と歴史があり、その総
 てを一方的に理解すること
 は、できないということだ
 した。お互いに価値観を押
 し付けては、理解するどこ
 ろか、争いにすらなる。
 今回の同時多発テロ事件
 についても色々な要因や行
 き違いや、意図があるので
 はないだろうか。果たして
 アフガニスタンだけに責任
 があるのだろうか。争いや、
 貧富の無い世界を人間はい
 つか作りあげていくことを信
 じたいものです。

百姓二人暮らし

二区 坂 牧 いち子

私方は純農家として農業
 を営んで参りましたが、時
 代の流れにより後継者は勤
 めの係で家を離れている
 ので、何とか耕地を守りた
 いと老人二人暮らしで昔々
 らの経営を続けております。

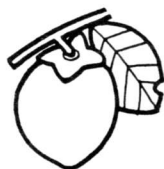
水田は減反の強化に伴い
 作も少なくなつたのは仕方
 ないが、減反分の利用には
 全く困っております。作付
 けを止めて空き田にした分
 は除草耕起を毎月の様に行

ており、見えても大変で
 あります。そんなに作らな
 くてとも言われる事もあり
 ますが、作らねば荒地とな
 る事は明らかな事で、仕方
 なく思っております。



社会的なお付き合いの
 中、作物の手入れの時期
 と重なり、会合にも出席
 出来ない事は悩みの種で
 あります。本年のゴール
 デンウィークは最長九連
 休とかで、この間に旅行
 した人は二千数百万人にの
 ぼると報じられていました
 が、私共の経営では考えら
 れません。育苗植付けの時
 期で、どちらかが管理しな
 ければ家を留守にする事す
 ら出来ません。労働には慣
 れていますが、そんな記事
 を読むと人生の焦りすら感
 じます。若い人達が帰省し
 て台所をやってくれる時は
 何と嬉しい事か、野から帰
 りそれから支度してという
 毎日の中、据膳で家族の喜
 びを感じるものであります。
 二人暮らしは気兼ねなく
 いいなとも言われますが、
 町民運動会の日に連休だか
 らと長男が援農に来てくれ
 ましたが、前述の様で運動
 会は気兼ねしつつ御無礼し
 て手伝わってもらいました。
 健康第一にと暮らす老人
 農業の一端を書かして戴き
 ました。

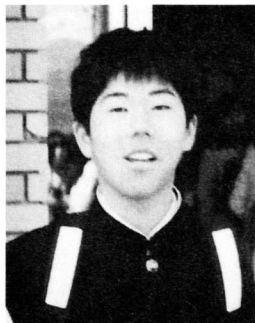
わたしの作文



ぼくの作文

中学生になって

中一 林 祐輝 (五区)



今年の春に、僕は中学生になった。中学校生活は小学校とは違い、いろいろ大変になった。まず、授業の時間が四十五分から五十分

になる。今までなかった教科もある。英語だ。僕は今まで英語がわからない。でも単語を覚えたり、文をくり返し読んでいたりして勉強している。宿題も毎日英語、数学、国語、生活記録と四つある。部活もあるので学校から帰ると疲れてしまう。あと中学からはテストがある。小学校でもあったけど中学でのテストは難しい。

テスト一週間前位になるとかなりあせる。でも大変なことばかりでもない。学年行事として一年ではキャンプがあった。暑かったけれど楽しかった。ほかにクラスマッチがある。バレーとドッジボールとバスケットをした。あと文化祭もあった。文化祭の中で音楽会もあった。各組で歌を歌った。

賞を取ることができなかったけど、がんばれた。ほかによくやったことは、友達が増えたことだ。北小の人や話したことのない人とも友達になった。これからは友達を増やしていきたい。こんな大変なことや良いことがある。卒業するまでしっかり勉強したり遊んだりしたいです。

卓 球

小5 林 愛美 (4区)



私は、小学四年生の春から、スポーツ少年団の卓球部に入っています。朝の六時三十分から八時三十分までの二時間、町民体育館二階、卓球室で練習をしています。四年生になって、同じクラスのはるかさんと、三年生までクラスメ

と多く、中心となってがんばっています。練習中は、いつも元気で、皆やる気満々です。私も、二年目なので、友達や、下級生の練習の相手、先生との対一など、日曜日二時間の練習は、すごく楽しくて、時間がとても短く感じられます。しかし、その一方苦手な事もあります。夏の卓球室は蒸し風呂のように暑いので、卓球室に入るのがいやになります。冬は、朝が早いので、

外はまだ真っ暗だし、寒くて起きるのが辛いです。今まで、スポーツは、好きでもなく、得意でもなかった私が、この「卓球」という一つのスポーツが、すごく好きになり、もっと上手になりたいと思います。そして、私の夢は、いつか大きな大会に出場する事です。もう少し、欲を出せば、その大会で、優勝したいです。これからは、その夢を目指してがんばりたいです。

下市田郵便局
開局しました

局長 佐藤直司

候でしたが、下市田保育園年長組の皆さんに来ていただき、お祝いのくす玉割りをしていただきました。

盛大に開局が出来ましてありがとうございます。

下市田へ郵便局をの声から七年あまりが経過し、この間大変ご不便をおかけしましたが、区長さん始め多くの方々に大変ご尽力をいただきまして、開局の運びとなりましたことに對し心より感謝申し上げます。

さて、下市田郵便局は、ショッピングセンター・パース様南に位置し、国道沿いになります。局舎は木造平屋造りで、地域との調和を考えまして和風のたたずまいとしました。また、高齡の方にも気軽に立ち寄りいただけますようにと、道路からの段差の無いバリアフリーといたしました。車は駐車場に入りやすく、また下市田駅にも近く、また町の福祉バスでお越しの方にも停留所が局の角にあり、郵便局が一步近くなったように感じております。

下市田郵便局は、高森町内では四番目の郵便局となります。山吹・上市田と同じ無集配特定局と

なります。配達業務はしていませんが、窓口業務は、切手・はがき・ゆうゆうパックの郵便と、振替・為替等の貯金・年金恩給等と簡易保険を取り扱っております。お気軽にご利用いただきますようお願いいたします。これからは、地域の皆様に郵便局がどんなお手伝いができるかを考え、一人でも多くの方が郵便局ができて良かったと感じていただきたいと思います。今後共一層のご愛顧をお願いいたします。



二十一世紀 キーポイントは

六区自治会長 甕 三郎

出砂原は、昭和十六年下市田二区から分離して六区となり、六十年になります。

地域の紹介

六区の発展は市田駅が出来、鉄道の明神橋が出来、天竜社が出来た三点がキーポイントである。全盛期は二百六十戸を越す集落となり、活気にあふれた。

地区は交通運輸の要衝として東西の交流も産業・経済・商工の中心地として活動し、商店街は大変繁盛していた。駅も飯田に次ぐ乗降をなし舟下り観光駅として急行停車で盛況を極めた。

駅前一帯は町の玄関口で、銀行・郵便局辺りが特に観光会社二社の客引き合戦は一日中騒々しく有名であった。飛躍的發展を遂げた六区も四十四年に天竜社



「灯籠流し」には、子供たちも大勢参加して賑わいをそえています。

設が、駅構内の地はお祭り広場となり、朝霧道路につながる。

六区の今後は第二の黄金

グループ紹介

民踊クラブ さつき会

代表 湯沢智子

私達の民踊クラブは、昭和五十七年五月、北の原会所の建設完成と同時に発足致しました。

会員全員が仲良く年を重ね、この頃では覚えるより忘れる方が早い年齢となりました。

会所のある中央公園には、さつきの木が沢山に植えられており、時を忘れず美しい花を咲かせてくれます。この花と五月発足を取り入れ、会の名前を北の原さつき会と致しました。現在七名の会員で、一ヶ月に二回先生をお願いし、練習しています。お互いに忙しい中を集まるのですが、快い汗をかく事、皆と顔を合わせコミュニケーションを目的とし、毎回大笑いし、健康で踊れる事に喜びを感じ乍ら楽しんでいきます。

町や区で行われる敬老会・ふるさと祭



屋外トイレ設置について

この度、下市田区民会館西側に新しく屋外水洗トイレが設置されました。これまでに、特にアウトドア・スポーツに際して大変ご迷惑をお掛けして居りましたが、これからは気軽に使用できたと思って居ります。ご利用に際して、いつもキレイに、お互い気持ちよく用を済ませられる様、又後から使用される人の為



編集後記

「萩の郷」五十号を迎えて

昭和五十九年一月一日に区報「萩の郷」第一号が発行され、今回は第五十号の節目を迎えた。

当時の区長林直輔氏は、「住みよい下市田づくり」を、発刊理由の一つとして挙げておられる。

区の情勢、各分野での活動報告、区民の皆さんからの意見・提言等の取り扱い、更にそれ等を記録に残す手段としても、地域づくりへの区報のもつ意義は、大きいものがある。

五十号「萩の郷」をお届けするに当たり、これまで培われた実績を汚すことなく、益々地域づくりに貢献できる区報・館報であるよう、心新たに励みたいと思う。